



一宮町長
馬淵 昌也

先日、長生郡町村会の視察で、群馬県川場村へ、日本一の集客数を誇る道の駅「川場田園プラザ」を見学に行ってきました。

川場田園プラザは、昨年(2022年)一年間の来訪者が250万人、2021年2022年と、雑誌の道の駅ランキングで全国第一位に選ばれています。

この道の駅の特徴は、広い地域から多くの方が、ここを目的地に訪れることです。道の駅は、元来、どこか別の目的地へ車で向かう人が、途中で休んだり、食事をしたり買い物したり、という施設として設営されています。しかし、川場田園プラザは違います。みなさん、ここを指して出かけるのだそうです。

では、目的地として選ばれる魅力はなにか、ということですが、6haという広大な敷地に、買い物、食事、遊び、くつろぎ、と多様なニーズに答えられる施設が設けられ、老若男女誰でも一日楽しめる空間にあると思います。

すばらしい展望を有する大きな敷地に、日本家屋様式の建物が建っています。建物と建物の間は広くとられていて、心地よいです。景観や建築を専門とされる大学の先生が設計されたものだから

です。そして、そこに地元の優れた農作物や加工品が販売されています。全国・食味分析鑑定コンクールで8年連続日本一になったお米「雪ほたか」や、東京の高級イタリアンレストランから注文が入るイタリアチーズなど、きわめて付加価値の高い食品が売られています。レストランも色々ありますが、いずれもレベル高く設定し、必ず社長さんが味わって合格したものだけ提供するそうです。

そして、目立つのは斜面を利用した子どもさんの遊び場です。トランポリンや坂道すべり場など、ダイナミックに遊ぶ場所があります。また、広い園内では、犬を連れて方が大変多くきておられる。ペットとともに過ごせるというのも、魅力なのだともわかりました。

こうして、建築・販売品・料理・遊び施設・くつろぎ場所などがすべてそろっているのだから、ここは目的地に選ばれるのだということがわかりました。

ただ、最初は赤字だったそうです。民間会社出身の社長さんとなり、はじめて今の状態が展望できたそうです。

地域に根ざしながら目的地として選ばれる場所とはどういうものなのか、深く学ぶ機会となりました。